



けた取り組みを着実に実行するとともに、財政規模に応じた適正な事業選択を行う必要があります。

このように、国や県の政策や財政状況を踏まえて、平成31年度水川町一般会計予算につきましては、大幅な歳入減を見据えた厳しく堅実な財政運営に向けて、職員自らが創意工夫を図り、事務事業の徹底的な見直しや事業間の優先順位の厳しい選択を行う一方、県営湛水防除事業をはじめ下水道宮原処理区の広域編入事業、防災行政無線デジタル化事業、小中学校エアコン整備事業、橋梁長寿命化計画に基づく改修事業など将来に向けた町勢発展の礎を築くために重要と考えられる事業については、国や県の交付金などの活用を図り必要な財源を確保することとし、徹底したコスト意識のもと、メリハリのある予算編成に心がけ、対前年比0.5%増の総額68億7370万8千円いたしました。

歳入では、町税および地方交付税が若干増加し、財源確保のために財政調整基金から繰り入れを行い、町債につきましては、必要最小限の起債に抑えたところであります。

地の利活用調整、利活用状況調査などの農業委員会の機能充実を支援する機構集積支援事業および耕作放棄地解消緊急対策事業に取り組むこととしています。

農業経営の安定化と農家負担の軽減を目的とした農業収入安定化事業についても継続して実施します。昨年度実施した水産環境整備事業により、整備した漁場の活用を図るとともに、水産基盤整備交付金事業では、アサリ、ハマグリ稚貝の放流および漁場の耕うんを継続して実施します。

農業基盤整備促進事業として、老朽化した農業用排水路の改修、若洲排水機場の主ポンプの整備を行うとともに、水川大堰改修事業、国営造成施設管理体制整備促進事業を水川町土地改良区と連携して実施します。

多面的機能支払交付金事業につきましては、22地区で取り組まれておりますが、農村環境の保全と改善のためさらなる取り組み拡大を推進してまいります。

竜北地区の県営湛水防除事業については、熊本県とともに事業の計画的な推進に努力してまいります。

歳出では民生費、農林水産業費、土木費、公債費を増額予算とし、それ以外の議会費、総務費、衛生費、商工費、消防費を減額予算とした。

水川町が誕生して14年目を迎え、持続可能な基礎自治体としての礎を築く大切な時期を迎えています。平成31年度は「効率的な組織体制の整備と次世代への投資」と位置づけ、人口減少社会を見据えた機能的な役場組織への改革を行うとともに、将来の水川町を展望した新たな視点を持ち、地方創生総合戦略ならびに第二次水川町総合振興計画の基本理念に基づいた次の5つのまちづくり戦略を掲げ、議会の協力を頂き、町民の皆さまと協働しながら、「安心して暮らせ、幸せを実現できる持続可能な田園都市・水川町の創造」に向けた堅実かつ積極果敢な町政の展開を行ってまいりますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

魅力あふれる産業の振興

安定した生活基盤を確保するためには、基幹産業である農業・商工業



▲農業用排水路の改修 (写真は野津地区)

商工業振興策としましては、継続して「創業支援・事業所等整備促進事業」を推進し、新規創業者の商工業者の店舗および機械器具の整備と既存の商工業者の店舗リフォームおよび機械器具などの更新について支援いたします。

同じく継続事業として、若手後継者や創業者予定者の経営力向上に向けたソフト面の支援を行うため、「若手後継者等育成特別推進事業」を推進します。

住宅リフォーム促進事業ならびに災害復旧住宅リフォーム促進事業を継続して実施することとし、被災

に活力と魅力がなくてはなりません。

農業振興策としては、県南フードバレー構想との連携を図りつつ、足腰の強い持続可能な農業経営を図るために、各種生産組織および営農組織を中核とした組織型農業を推進するとともに、共同経営を視野に入れた農事組合法人ならびに担い手農家の育成を図ってまいります。

地方創生拠点整備交付金事業で整備した特産品加工センター「創生館」を活用して、有限会社水川町まちづくり振興会によるハサップ対応の販売に主眼を置いた商品の製造および開発を進めてまいります。

農地集積加速化事業については、すでに農事組合法人として設立した「アグリ吉野」、「野津南」、「アグリ鹿島」、「肥の川南」の安定した経営に向け支援するとともに、営農改善組合として活動している中大野地区および東網道地区の活動を支援してまいります。

新たに創設した農地課と農業委員ならびに最適化推進委員の皆さまとの連携により、熊本県農地中間管理機構を活用した農地の集積を積極的に推進します。

い業機械再生支援事業も継続し

者の支援および中小建築業者の支援と空き家対策としての地域環境の改善とともに町内商工業の振興を図ります。

ネット通販販路拡大事業、地域資源活用特産品開発・販路拡大事業を販売戦略商工会補助金として位置づけ、雇用の確保、商工会活動の支援と商工業者の経営革新を支援してまいります。

町単独のプレミア付き商品券の発行につきましては、継続して実施し、町内における購買力の向上を目指してまいります。

企業誘致活動につきましては、宇城水川スマートインテリジェンに隣接する元且ビユーティ工業株式会社所有の土地において、宇城市にある火の国食品株式会社より新工場建設のため、譲渡の相談がありましたので、町が仲介役となり交渉の結果、2月21日に両者の間で2.4haの土地売買契約が締結されたところであります。

新工場が早期に建設され、地域内雇用が図られるよう、今後とも支援を行うとともに、残地についても元且ビユーティ工業株式会社において活用されるよう、さらに誘致活動

て実施することとし、い業関連機械

の維持管理費を支援することにより、生産機械の長寿命化を図ります。再生産されたイ草収穫機ハーベスターの導入支援として「いぐさ」豊表生産体制強化支援事業」を継続して実施するとともに、移植機の生産を促進するとともに、日本の豊文化を守るイ草の生産に必要な機械器具の購入について、国県の財政支援策の創設を求めてまいります。

国・県事業を積極的に活用し、新規就農者の支援、園芸作物農家の施設整備支援および鳥獣被害の防止を図ります。

水川町農業元気づくり支援事業は、梨強化補助、柑橘類のマルチ資材補助、トマトの病害対策、露地野菜重要病害虫対策、イチゴ品質向上対策、葉タバコ連作障害対策、牛異常産予防ワクチン接種などの7つの事業を展開します。

また、継続事業としまして、経営所得安定対策事業、強い農業担い手づくり総合支援交付金事業、水川町販売戦略基本計画に基づく農産物販売戦略強化対策、いぐさ豊表生産体制強化緊急対策事業、農産物輸出促進事業をはじめ、農

を継続してまいります。

まちづくり酒屋の外装工事が完了し、本年度内装工事を予定しており、立神峡公園、秋山幸二ギャラリーとともに、水川ツーリズム事業のひとつの資源として位置づけ、相互に連携をとりながら、その活用を図ることとします。

水川まつり、梨マラソン大会、ヘラブナ釣り大会、ウォーキング大会など、各種イベントにつきましても参加者増加への工夫を行うとともに、水川町PR用ビデオを活用し、町外からの交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。

地域でいきいきと暮らせる 保健福祉のまちづくり

「生活の安定は健康づくり」という視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、保健予防、検診事業および健康相談、保健指導、食生活改善指導をさらに強化推進いたします。

新規事業として、高齢者等福祉タクシー利用料金支援実証事業を創設し、交通手段が乏しい高齢者および障がいをお持ちの皆さまが利